以下、参考資料（地質データ）

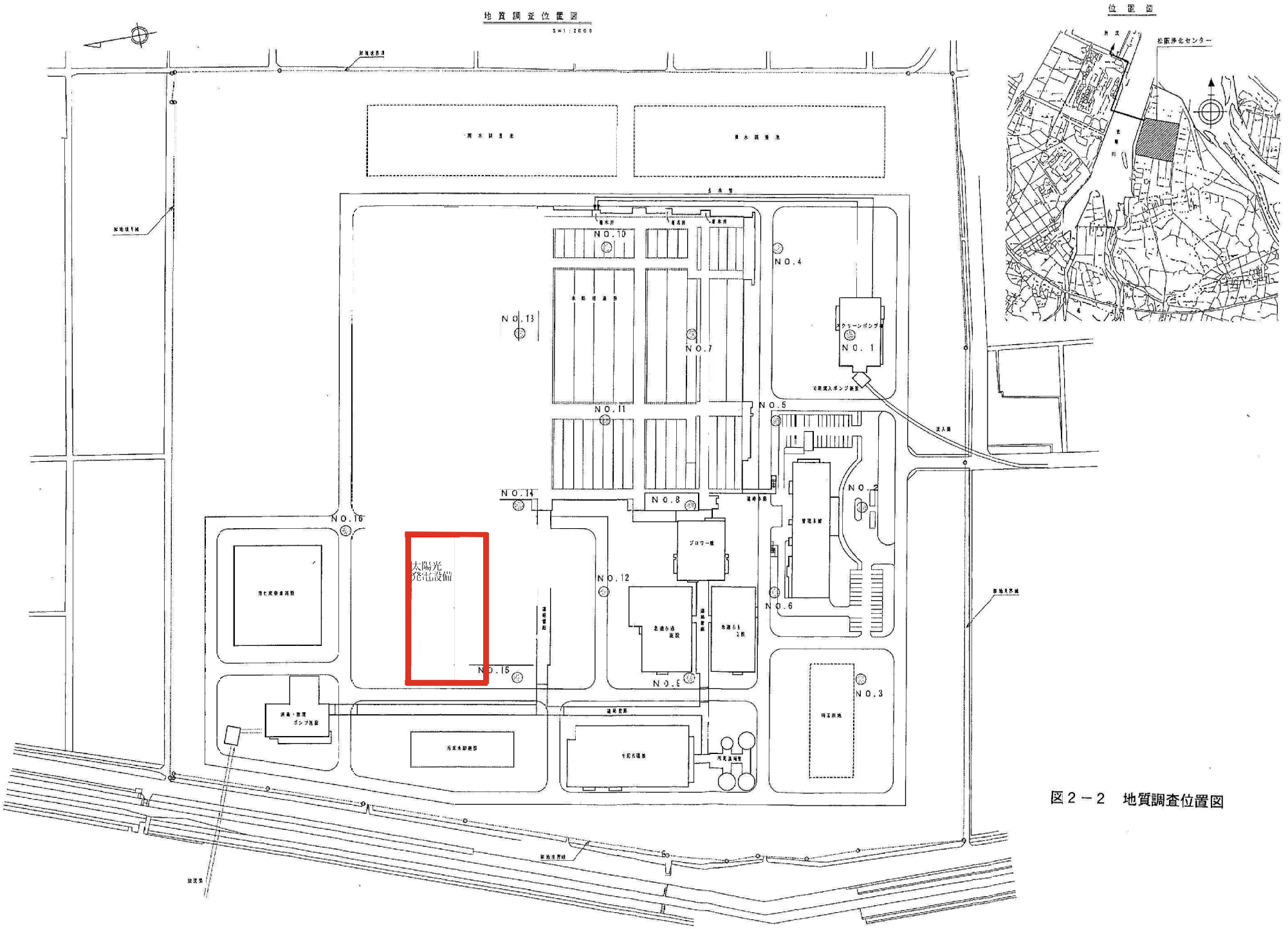


図２－２　地質調査位置図

中勢沿岸流域下水道（松阪処理区）地質調査

調　査　名　委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.14　調査位置	三重県松阪市高須町地内		北緯	
発注機関	三重県松阪地方県民局松阪土木事務所	調査期間	平成 2年 2月14日～ 2年 2月17日	東経	
調査業者名	中央開発株式会社 三重営業所 電話(0592-25-1496) 主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	H= -0.16m　角度	方向	地盤勾配	使用機種	
総掘進長	27.50m			試錐機	YBM-05　ハンマー落下用具　自動落下装置(オートハンマー)
				エンジン	NC-80　ポンプ　SP-30B

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	-1.86	1.70	1.70		砂礫	暗灰			最上部0.2m、砂混りシルト主体。φ2～30mmのチャート、砂岩、花崗岩の亜角礫多い。礫間に粗砂が充填。崩壊性大きい。
2	-2.16	0.30	2.00		シルト混り砂	暗灰			細砂主体。
3	-4.16	2.00	4.00		砂	暗灰～炭黄灰			細砂主体。含水量多い。上部シルト分少量含有。GL－3.5～4.0m間、褐灰色の砂を介在。
4									
5					シルト混り砂	暗灰			細砂主体。腐植物、貝殻細片混入。シルト分の含有上部少なく、下部多い。
6	-6.36	2.20	6.20						
7	-8.16	1.20	8.00		砂質シルト	暗灰			細砂混入。含水量多い。腐植物混入。
8					粘土質シルト	暗灰			所々、細砂薄層状に介在。腐植物、貝殻片混入。含水量多い。
9									
10									
11	-11.36	3.20	11.20						GL－11.0m付近、砂層多く介在、礫混入。
12					砂礫	暗灰			φ2～30mm程度のチャート、花崗岩の亜角～亜円礫多い。上部シルト分含有。礫間は、粗砂が充填。含水量多い。GL－12.0m付近、少量の湧水あり。
13	-13.16	1.80	13.00		礫混り砂	暗黄灰			粗砂主体。φ2～20mmの礫混入。全体にシルト分含有。腐植物、貝殻片混入。
14	-13.96	0.80	13.80		玉石混り砂礫	黄灰			φ2～60mm程度のチャート、花崗岩の亜角礫多い。φ100～160mm程度の玉石点在。礫間は、粗砂が充填。GL－15.0～16.0m付近、玉石の混入多い。
15									
16									
17	-17.26	3.30	17.10						
	-17.76	0.50	17.60		シルト混り砂	黄褐			細砂主体。腐植物、雲母片混入。
18	-18.66	0.90	18.50		粘土質シルト	暗灰			細砂少量混入。亜炭介在。腐植物、雲母片多量に混入。
19					シルト混り砂	暗灰			細砂主体。シルト分全体に含有。所々、φ2～20mm程度の亜円礫混入。腐植物、雲母片混入。
20	-20.66	2.00	20.50						
21					砂礫	黄灰			φ2～60mm程度のチャートの亜円～亜角礫多い。礫間は、中～粗砂が充填。所々で、粘土分含有。含水量多い。
22									
23									
24									
25									GL－24.9～25.1m間 粘土介在。
26									GL－25.0～26.0m付近、粘土分含有。
27	-27.36	6.70	27.20						
	-27.66	0.30	27.50		砂質シルト	黄灰			玄礫が全体に混入。

孔内水位(m)／測定月日：2/14 0.20

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	4	6	8	18/30	
1.45 2.15	2	3	5	10/30	
2.45 3.15	2	1	3	6/30	
3.45 4.15	3	3	4	10/30	
4.45 5.15	4	4	4	12/30	
5.45 6.15	2	3	3	8/30	
6.45 7.15	1	1	1	2/30	
7.45 8.15	1/12	1/12	1	3/34	
8.49 9.15	1/12	1	1	3/32	
9.47 10.15	1	1	1	3/30	
10.45 11.15	3	9	12	24/30	
11.45 12.15	7	14	10	31/30	
12.45 13.15	2	3	4	9/30	
13.45 14.15	14	15	20	49/30	
14.45 15.15	17	18	15/5	50/28	
15.43 16.15	19	31/5		50/16	
16.31 17.15	5	5	6	16/30	
17.45 18.15	1	2	2	5/30	
18.45 19.15	5	5	6	16/30	
19.45 20.15	5	6	9	20/30	
20.45 21.15	16	17	18	51/30	
21.45 22.15	14	15	17	46/30	
22.45 23.15	18	32		50/20	
23.35 24.15	17	23	10/5	50/30	
24.37 25.15	10	10	11	31/30	
25.45 26.15	23	23	4/1	50/21	
26.36 27.15	14	5	6	25/30	
27.45					

原位置試験

深度(m)	試験名および結果

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験(物理)	掘進月日
3.15 3.45	P-3	⑤	重水度 比含水	
5.15 5.45	P-5	⑤	重水度 比含水	
10.15 10.45	P-10	⑤	重水度 比含水 比液	
18.15 18.45	P-18	⑤	重水度 比含水 比液	

ボーリング柱状図

調査名　中勢沿岸流域下水道（松阪処理区）地質調査委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No.15	調査位置	三重県松阪市高須町地内	北緯	
発注機関	三重県松阪地方県民局松阪土木事務所	調査期間	平成 2年 2月20日～ 2年 2月22日	東経	
調査業者名	中央開発株式会社 三重営業所 電話(0592-25-1496)	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	H=-0.16m	角度	上180° 下0° 90°	方向	北0° 東90° 南180° 西270°
総掘進長	22.38m	地盤勾配	水平0° 90°	使用機種	試錐機 東邦D-1 / エンジン NC-90 / ハンマー落下用具 自動落下装置(オートハンマー) / ポンプ V-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.56	0.40	0.40		礫混り粘土	黒褐			農耕土。φ2～30mmの礫混入。
1	-2.16	1.60	2.00		礫混り砂	黄褐～青灰			粗砂主体。φ2～20mm程度のチャートの亜円～亜角礫混入。上部は砂礫状。下部、細砂多い。
2	-4.16	2.00	4.00		砂	暗灰			細砂主体。雲母片混入。
3	-7.26	3.10	7.10		シルト混り砂	暗灰			細砂主体。φ2～5mm程度の亜円礫点在。貝殻片、雲母片混入。シルト分下部多い。
4	-8.66	1.40	6.50		砂質シルト	暗灰			細砂混入。腐植物、貝殻片、雲母片混入。
5	-11.16	2.50	11.00		粘土質シルト	暗灰			細砂少量混入。腐植物、貝殻片、雲母片混入。貝殻片下部多い。
6	-12.06	0.90	11.90		礫混り砂質シルト	暗灰			φ2～5mm程度の亜円～亜角礫混入。粗砂混入。貝殻片混入。
7	-17.56	5.50	17.40		砂礫	暗灰～暗黄灰			φ2～40mm、φmax×60mm程度のチャート、頁岩の亜角礫多い。礫間は粗砂が充填。
8	-17.96	0.40	17.80		礫混り粘土	黄褐			φ2～10mm、φmax40mm程度の亜角礫混入。
9	-18.81	0.85	18.65		砂	黄灰			粗砂主体。雲母片混入。φ2～5mm、φmax15mmの礫混入。
10	-19.26	0.45	19.10		シルト	黄褐			雲母片混入。
11	-21.36	2.10	21.20		シルト混り砂	暗灰			細砂主体。貝殻片混入。シルト所々に介在。 GL-20.5m付近、砂礫状を呈す GL-21.0m付近、含水量多い。
12	-22.54	1.18	22.38		砂礫	青灰～暗灰			φ2～50mm、φmax50mm程度のチャートの亜円～亜角礫が多い。礫間は粗砂が充填。細粒分少量含有。

孔内水位(m)／測定月日：2/20 0.10

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	3	4	10/30	10
1.45					
2.15	2	2	3	7/30	7
2.45					
3.15	5	6	6	17/30	17
3.45					
4.15	6	7	6	19/30	19
4.45					
5.15	4	4	6	14/30	14
5.45					
6.15	4	2	4	10/30	10
6.45					
7.15	2/12	1/7	2	5/30	5
7.45					
8.15	1	1	1	3/30	3
8.45					
10.65	1	1	1	3/30	3
10.95	1/23	1/7		2/30	2
11.45					
12.15	2	2	4	8/30	8
12.45					
13.15	16	14	14	44/30	44
13.45					
14.15	20	27	3/1	50/31	
14.36					
15.15	18	18	14/3	50/28	
15.43					
16.15	30	20/2		50/13	
16.33					
17.15	4	4	8	16/30	16
17.45					
18.15	5	6	6	17/30	17
18.45					
19.15	3	4	5	12/30	12
19.45					
20.15	8	8	16	32/30	32
20.45					
21.19	10	12	21	43/30	43
21.49					
22.15	20	20	10/3	50/23	
22.38					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
4.00	現場透水試験 K＝8.06×10⁻³cm/sec
4.50	
12.10	現場透水試験 K＝1.36×10⁻¹cm/sec
12.60	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（物理・力学）
4.15	P-4	⑫	重水度 比含水
4.45			
9.50	T-1	①	重水度 粒度組成 比含水 液性一圧
10.25			
13.15	P-12		重水度 比含水
13.45			

掘進月日

調査名　中勢沿岸流域下水道（松阪処理区）地質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.16	調査位置	三重県松阪市高須町地内		北緯
発注機関	三重県松阪地方県民局松阪土木事務所		調査期間	平成 2年 3月 8日～ 2年 3月 日	東経
調査業者名	中央開発株式会社 三重営業所 電話(0592-25-1496)	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	H= -0.15m	角度	方向	地盤勾配	使用機種
総掘進長	28.50m	上下 180° 0° 90°	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	水平 0° 角度 90°	試錐機 KR-100 / エンジン NC-90 / ハンマー落下用具 自動落下装置(オートハンマー) / ポンプ V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1					礫混り砂	暗灰～黄灰			最上部、0.2m農耕土（砂質シルト）。粒子不均一な砂。含水量多い。φ2～20mm程度の円～亜円礫混入。腐植物、雲母片混入。
2	-2.25	2.10	2.10						
	-2.55	0.30	2.40		砂混りシルト	暗褐灰			腐植物混入。
3					砂	灰～暗灰			細砂主体。腐植物、雲母片混入。
4	-4.85	2.30	4.70						
5					シルト混り砂	暗灰			細砂主体。シルト分所々に少量含有。腐植物、雲母片混入。
	-5.95	1.10	5.80						
6					砂質シルト	暗灰			細砂全体に混入。所々砂分多く、シルト混り細砂状を呈する部分がある。木片、雲母片混入。
7	-7.45	1.50	7.30						
8					砂混りシルト	暗灰～暗青灰			細砂全体に混入。上部砂分多い。腐植物、雲母片混入。
9	-9.15	1.70	9.00						
10					粘土質シルト	暗青灰～暗灰			上部、細砂薄層状に介在。含水量多い。腐植物、雲母片混入。貝殻片混入し、下部多い。
11	-11.15	2.00	11.00						
	-12.05	0.90	11.90		砂混り粘土	暗灰			粗砂φ2～5mm程度の細礫混入。含水量多い。貝殻片多量に混入。
12					砂礫	暗灰～黄灰			φ2～50mm、φmax70mm程度のチャートの亜角礫多い。礫間は粗砂が充填し、少量細粒分含有。含水量多い。所々、途水がある。
13									
14									
15									
16									
17	-17.75	5.70	17.60						
18	-18.45	0.70	18.30		粘土	黄褐～暗青灰			上部、砂分混入。含水量少ない。腐植物、雲母片、φ20～30mmの礫混入。
	-18.95	0.50	18.80		砂	青灰			粒子不均一な砂。シルト分少量含有。
19	-19.75	0.80	19.60		砂混り粘土	暗灰			粗砂～細砂に混入。含水量多い。腐植物混入。
20					砂	暗灰～青灰			粒子不均一な砂。下部、細砂多く、少量シルト分含有。腐植物、雲母片混入。
	-20.95	1.70	20.80						
21					砂礫	黄灰～暗黄灰			φ2～30mm、φmax50mm程度のチャート、花崗岩、砂岩の亜円～亜角礫多い。花崗岩礫は"くさり礫"が多い。礫間は主に粗砂が充填し、粒分少量含有。GL-22.5～23.0m、GL-24.5～25.0mおよびGL-26.0～25.9m間、礫分が少ない。
22									
23									
24									
25									
26									
27	-27.65	6.70	27.50						
28	-28.65	1.00	28.50		砂混りシルト	青灰～暗灰			細砂所々に混入。含水量少ない。下部、腐植物混入。

孔内水位(m)／測定月日：3/8 0.10

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3/12	3/9	3/9	9/30	9
1.45					
2.15	1/4	1	1/16	3/30	3
2.45					
3.15	4	5	5	14/30	14
3.45					
4.15	4	4	4	12/30	12
4.45					
5.15	3/12	2/8	3/11	8/32	8
5.47					
6.15	2/11	2	2	6/31	6
6.46					
7.15	1/9	2/14	2/13	5/35	4
7.50					
8.15	1/11	1/9	2/14	4/34	4
8.49					
9.15	1/16	1/14		2/30	2
9.45					
10.15	1/14	1/12	1/12	3/38	2
10.53					
11.15	1/15	1/14	1/12	3/41	2
11.56					
12.15	5	6	9	20/30	20
12.45					
13.15	29	21/3		50/13	
13.34					
14.15	20	25	5/3	50/32	
14.37					
15.15	15	16	14	45/30	45
15.45					
16.15	19	26	5/2	50/32	
16.37					
17.15	16	25	9/7	50/37	
17.42					
18.15	3	7	9	19/30	19
18.45					
19.15	10	12	15	37/30	27
19.45					
20.15	16	24	10/5	50/25	
20.40					
21.15	17	19	14/6	50/26	
21.41					
22.15	35	15/2		50/12	
22.27					
23.15	25	25/8		50/18	
23.33					
24.15	19	27	4/1	50/21	
24.36					
25.15	21	24	5/3	50/22	
25.37					
26.15	24	27		51/20	
26.35					
27.15	24	26/3		50/19	
27.34					
28.15	3	3/11	3	9/31	9
28.46					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日

塩素混和池（消毒・放流ポンプ施設）付近のボーリング柱状図

